

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公開番号】特開 2019-171191 (P2019-171191A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-041
 【出願番号】特願 2019-132065 (P2019-132065)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 6 日 (2020.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域内の第一入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第一抽選を実行する第一抽選実行手段と、

遊技領域内の第二入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第二抽選を実行する第二抽選実行手段と、

前記第一抽選又は前記第二抽選に基づいて図柄の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、

前記第一抽選又は前記第二抽選に基づき、遊技状態に応じて異なる確率にて遊技利益を付与可能な第一特定遊技を実行する第一特定遊技実行手段と、

前記第二抽選に基づき、遊技状態に拘らず一定確率にて前記第一特定遊技よりも少ない遊技利益を付与可能な第二特定遊技を実行する第二特定遊技実行手段と、

前記第一特定遊技の実行を契機に遊技状態を通常の遊技状態とは異なる特定の遊技状態に移行させる特定遊技状態移行手段と、

遊技状態に拘らず前記第二特定遊技が実行される確率が一定とされるなかで、前記通常の遊技状態における前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を長時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を抑制する抽選頻度抑制手段と、

遊技状態に拘らず前記第二特定遊技が実行される確率が一定とされるなかで、前記特定の遊技状態における前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を前記長時間よりも短い短時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を高める抽選頻度向上手段と、

を備え、

前記第二抽選に基づいて実行される前記第一特定遊技において付与される遊技利益よりも、前記抽選頻度向上手段によって前記第二抽選に基づく変動表示が前記短時間とされる期間中にて実行される前記第二特定遊技において付与される遊技利益のほうが多くなり得るものであり、

前記第二抽選に基づく変動表示の実行中に前記第一抽選に基づく変動表示を実行可能であり、

前記抽選頻度向上手段によって、前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示が前記長時間よりも前記短時間に変更され前記第二特定遊技の実行頻度が高められている状態に

おける前記第一抽選の実行頻度は、前記第二特定遊技の実行頻度が抑制されるように前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示が前記抽選頻度抑制手段により前記長時間とされている前記通常の遊技状態と比べ、低くされており、

前記通常の遊技状態において、前記第二特定遊技の実行頻度を抑制するべく第二抽選実行手段の抽選に基づいて長時間の変動表示が行われているとしても、前記第一抽選実行手段の抽選に基づく変動表示において前記第一特定遊技が実行される特定の図柄が停止される場合には、前記第二抽選実行手段の抽選に基づく長時間の変動表示が変動途中であっても前記特定の図柄が停止されるタイミングで前記第二抽選実行手段の抽選に基づく長時間の変動表示を停止させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明の代表的な遊技機の一形態では、遊技領域内の第一入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第一抽選を実行する第一抽選実行手段と、遊技領域内の第二入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第二抽選を実行する第二抽選実行手段と、前記第一抽選又は前記第二抽選に基づいて図柄の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、前記第一抽選又は前記第二抽選に基づき、遊技状態に応じて異なる確率にて遊技利益を付与可能な第一特定遊技を実行する第一特定遊技実行手段と、前記第二抽選に基づき、遊技状態に拘らず一定確率にて前記第一特定遊技よりも少ない遊技利益を付与可能な第二特定遊技を実行する第二特定遊技実行手段と、前記第一特定遊技の実行を契機に遊技状態を通常の遊技状態とは異なる特定の遊技状態に移行させる特定遊技状態移行手段と、遊技状態に拘らず前記第二特定遊技が実行される確率が一定とされるなかで、前記通常の遊技状態における前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を長時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を抑制する抽選頻度抑制手段と、遊技状態に拘らず前記第二特定遊技が実行される確率が一定とされるなかで、前記特定の遊技状態における前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を前記長時間よりも短い短時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を高める抽選頻度向上手段と、を備え、前記第二抽選に基づいて実行される前記第一特定遊技において付与される遊技利益よりも、前記抽選頻度向上手段によって前記第二抽選に基づく変動表示が前記短時間とされる期間中にて実行される前記第二特定遊技において付与される遊技利益のほうが多くなり得るものであり、前記第二抽選に基づく変動表示の実行中に前記第一抽選に基づく変動表示を実行可能であり、前記抽選頻度向上手段によって、前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示が前記長時間よりも前記短時間に変更され前記第二特定遊技の実行頻度が高められている状態における前記第一抽選の実行頻度は、前記第二特定遊技の実行頻度が抑制されるように前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示が前記抽選頻度抑制手段により前記長時間とされている前記通常の遊技状態と比べ、低くされており、前記通常の遊技状態において、前記第二特定遊技の実行頻度を抑制するべく第二抽選実行手段の抽選に基づいて長時間の変動表示が行われているとしても、前記第一抽選実行手段の抽選に基づく変動表示において前記第一特定遊技が実行される特定の図柄が停止される場合には、前記第二抽選実行手段の抽選に基づく長時間の変動表示が変動途中であっても前記特定の図柄が停止されるタイミングで前記第二抽選実行手段の抽選に基づく長時間の変動表示を停止させることを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】